

こうとう民報

2016年3月号 136

江東区の職場・地域、議会などくらし・平和を守る運動をご紹介します。

発行
こうとう民報編集委員会
責任者 猪又 武夫
住所 江東区東陽2-3-5-203
電話3648-5155 FAX3648-5137
ホームページ
http://www.koto-m.inpo.jp/

怒りの 区民集会

多岐見で安倍政権を退場！

2月26日夜、区民要求実現江東大運動実行委員会は猿江公園で「江東区民集会」を開催し、民商、東京土建、婦人団体、労組などの代表が「アベノミクスは経済と景気の好



循環ではない」「消費税増税は中止に」「働く者の生活破壊は許さない」「内部留保で大幅賃上げ、景気回復を」「参院選で安倍自公政権を退陣させよう」と訴えました。戦争法ぶっ潰せ実行委員会の杉浦氏は「戦争法廃止に向けて平和の発信地江東からがんばろう」と呼びかけました。集会後、東陽町まで提灯や横断幕、のぼり旗を掲げアピールしました。

重税反対江東区民集会



3・13重税反対江東区民集会に216人の土建業者、中小業者、江東区労連傘下の代表らが参加。集会では、主催者の挨拶の後に、日本共産党の正保みきお区議会議員が「江東区の28年度予算案の特徴は、オリンピックに向けての予算」と区民の立場の予算でなく、溜め込みが中心と批判しました。採択された「集会決議」では、国民の暮らしをい



戦争体験を語る西尾静子さん

東京大空襲・戦災資料センター 開館14周年、東京大空襲を語り継ぐつどい開催
東京大空襲から71年。3月16日ティアラこうとうで「語り継ぐつどい」が341人の参加で開かれました。きたがわてつさんの歌声で幕をあげた「つどい」。6歳の誕生日に空襲を体験した西尾静子さんは、小名木川の墨田工業学校の地下室に避難。翌日出ようとすると入口は焼死体の黒山。若い女性のお腹から飛び出している胎

危険にさらす安保法制（戦争法）を強行し、大型公共事業や5兆円を超える軍事費を削減し、内部留保300兆円を超える大企業への法人減税をやめるなど、応能負担に基づく税制改革を行えば、消費税に頼らなくても、社会保障の財源を生み出すことが十分可能と主張しました。集会後、江東東・西税務署に向けデモ行進を行いました。

証言映像で大島で被災された船渡和代さんが、当時と今の大島の変貌を紹介しました。記念講演の女性史研究者・米田佐代子さんは、空襲から70年を過ぎ、体験を話せる人が少なくなった。世界では未だに戦争が続き「戦争」の現実を「想像」する事ができる。亡くなった人たちの声を聞き、伝えようと話されました。

江東区議会第一回定例会が3月に行われ、来年度の予算が審議されました。国保料値上げと福祉の後退と負担増

区の提案では、これまで共産党区議団が求めてきた障害者支援事業の拡充や保育士確保策、保育園増設などが盛り込まれたものの、「敬老祝い

また、保育予算の削減により保育施設の休園・廃園など深刻な事態となっていることをよそに、経費節減の民間委託をさらに進めようとしています。区議団は、「暮らししていく

一方、区の財政は相変わらず潤沢で、本年度の最終補正予算では予算を使い残して177億円も新たに基金に積み立て、基金総額は、区政史上

のが大変」と悲鳴が上がっている高齢者や子育て世帯、自営業者の営業不安、介護事業者の実態などを示し、保育料や保険料はむしろ引き下げるべきであること。また、特養ホームや保育園、障害者施設

るでしょう。国会では「保育園落ちた日本死ね！」との女性の匿名ブログについての野党議員の質問に対して、「一億総活躍」を呼号し、待機児ゼロを口にする首相の不誠実な答弁が大きな波紋を呼びました。4日夜、江東革新懇の学習会で池田香代子さんがブログの全文を読みあげていた。まさにその時に、国会正門前では数十人が「保育園に落ちたのは私だ」とプラカードを挙げていました。ネットでも、学童保育、奨学金、特養ホーム、就職など「落ちたのは私だ」と多くの人が名乗り出たのです。選挙を意識し、低所得者への3万円給付など経済政策優先を唱え、40万円の夫の給料に妻が働いて25万円の収入を加え、「とか、保育所を「保健所」と読み違えるような、暮らしの実態に疎い首相には、一日も早く退場してもらわなくてはなりません。参院選での野党統一候補が7選挙区で決定は朗報。宮城の共産・民主（当時）の政策協定には、アベノミクスの格差

は正・脱原発、不公平は正、辺野古新基地建設反対の項目が加わります。さらに衆院小選挙区での野党協議も進んでいるようです。待望の国民連合政府を志向する胎動を感じ

日本共産党演説会

4月14日(木) 18時半から
江東区文化センターホール

【弁士】

- 市田 忠義 党副委員長
- 山添 拓 参院東京選挙区予定候補
- 田村 智子 参院議員

潮騒

東日本大震災から5年目の春、季節はずれの冬日の後、一気に気温が上昇。月末には桜の花が咲き誇

江東の貧民街での教育実践

概説

江東の歴史 (54)



小説 石狩川

「石狩川」の作者として知られる本庄陸(むつ)男は、明台小の教師でした。

1905年、日露戦争のさなかに、彼は北海道石狩郡当別の開拓農民の子に生まれました。代用教員や樺太の王子製紙の職工で働いた資金をもって上京、青山師範に入学、卒業後、文京区の誠之小学校の教員となりました。

しかし、陸男はこの富裕層の子弟が多い学校に満足せず、1929(昭和4)年、深川区明台小の特殊学級の担任に赴任します。この学級には、日雇労働者や水上生活者など貧しい家庭の子ばかりが集まっていた。

陸男が明台小の体験をもとに書いた小説「白壁」は、結核で寝込んでいる父親をもつ富次の母親が、雨の日に学校を休ませて内職を手伝わせようと、怒鳴っている場面から始まります。富次は、母親が震災でびっくりした拍子に生まれた発育不全の子でした。

喘息病みの父と2人の妹が母親の行商でくらす家で育った教師の杉本(陸男)は、富次を自分の体の一部のようにいとおしく「何とか人並みにしたい」と奮闘します。

他方では、「せめて最高俸二百四十円也に辿りつきたい」とだけをお願い校長も登場します。

小説「女の子男の子」には、無賃乗車や万引、性に敏感な不良少女、少年が登場します。

陸男は、教室の中だけではこのような子どもたちを救えない、仲間とともに社会を変革する必要があると考え、日本教育労働者組合(教労)の前身、小学校教員連盟を結成します。しかし、その翌1930年には、組合結成を理由に教壇から追われてしまいました。

その後、教労と新興教育研究所に入った陸男は、新教の常任やプロレタリア作家同盟の書記となり、創作に専念しました。彼の教育評論「資本主義下の小学校」は、現実をリアルにとらえさせる教育を強調しています。陸男は「石狩川」刊行の2ヶ月後、1939(昭和14)年、34歳で亡くなりました。

- 行事日程
- 4月2日(木) 高岡孝郷さんを偲ぶ会 (13時) カメリア第一・二研修室
 - 4月8日(金) 映画「望郷の鐘」上映会 (14時) 総合市民センターレクホール
 - 4月10日(日) 東京土建江東支部定期大会
 - 4月19日(日) 韓国の民衆のサムトゥツリ江東公演 (18時30分開演 ティアラコート)

国民待望の野党共闘実現へ

江東革新懇 年次総会

江東革新懇は3月4日、年次総会を開いて、年間の活動を総括し、活動方針と予算、役員体制を決定しました。参加は12団体40人でした。



講演する池田香代子さん

討論では、大日本帝国憲法や侵略戦争を美化する育鵬社と自由社の教科書を不採択させた運動の盛り上がりで紹介されると共に、共同の輪を広げていくためにも、個人会員を増やしていくことが強調されました。

後半は、「世界がもし100人の村だったら」の池田香代子さんが、「どうなる? 野党共闘、どう

する? 私たち」と題して率直でわかりやすく、会場を笑わせながら講演しました。池田さんはアベノミクスに対して、国民の意識の「潮目が変わった」と声を大にして指摘し、大反響の匿名ブログ「保育園落ちた日本死ね!」を紹介しました。



白石たみお都議の話を聞く参加者

2・5より細かいナノ粒子など有害排気の大気汚染問題の3つの観点から影響を解析しました。そして都心上空を低空で飛ぶ計画の無謀さと被害が国交省の説明よりも広い範囲

江東区内はもとより、住民が一堂に参加して交際している隣の江戸川区、空港の沖合移転などで運動の歴史が長い大田区、そして品川区、文京区など安全性の問題、PM

羽田空港の国際線増便計画で騒音など大きな影響が予想される都内各地域の代表も招いて2月27日、「江東区上空の飛行計画撤回を求める会」が学習会を開催。70人以上の参加者が白石たみお都議(都市整備委員)から羽田空港拡張の歴史や増便計画の問題点を聞ききました。

影響深刻な5区の住民が経験交流

羽田の新航空路線騒音で学習会

なることも強調しました。

「住宅密集地の上を飛ぶことを区民の多くがまだ知らないのが百人以上でパレードし、NHKでも放映された。」

座談会

国会前集いや2000万署名の運動などで日頃から活発な活動を展開する「大島の会」が3月8日、総合市民センターで「座談会」を開催。33人が参加しました。

戦争法廃止をめざす大島の会

いま取り組んでいる署名活動や戦争法廃止とともに原発、くらしに直結した問題で対話するなど数々の経験が出されました。また画期的な5野党合意が実現し、参院選勝利への期待感が語られました。



安保法制廃止・安倍政治を許さない
4・6市民大集会在江東
4月6日(水) 18時30分~21時

講師 小林節(慶大名誉教授・弁護士)
挨拶 柿沢未途・福島みずほ・吉良よし子・大河原まさこ

応援スピーチ 市民連合 SEALDS
主催者挨拶 宇都宮健児(元日弁連会長)

江東区文化センター 参加費 500円